

## “第2回 スーパーマラソングランプリ with イイコトチャレンジ” 開催結果



富士スピードウェイでは、2015年1月11日(日)に“第2回 スーパーマラソングランプリ with イイコトチャレンジ” 第2回 マラソン日本グランプリ 5時間耐久レースが開催され、ランナー約1,100人が午前9時に一斉にスタートし、冬の富士スピードウェイを楽しみました。

本大会は、世界耐久選手権など自動車レースの舞台となっている国際レーシングコース(4,563m)を、より多くのお客様にお楽しみいただくため、「KONDO Racing」近藤監督が、「イイコトを皆で楽しく」を合言葉に、「スーパーママチャリグランプリ」の姉妹イベントとして昨年より開催しているマラソン大会です。

個人競技はフルマラソン(42.195km)、団体競技は「駅伝方式(「GT」クラス)」、「二人三脚(「ラブラブ」クラス)」、「ムカデ競争(「ムカデ」クラス)」、「親子での伴走(「Baby」クラス)」といった形式により、5時間先のゴールを目指し競いました。

優勝は、個人フルマラソンでは2時間50分07.36秒で堀江康弘選手が優勝したほか、団体種目では駅伝方式“GT”クラスで17周(77.571km)を走破した「CRC」が総合優勝を果たしました。

大会では、自己タイムを更新しようと懸命に走る方々や、仲間・グループが一団となって競争を楽しむ方々など、思い思いの1日を過ごされていました。

大会後は、各クラスの「表彰式」と、旅行会社の株式会社エイチ・アイ・エスによる全参加者の中から2組4名様に**ハワイ旅行が当たる大抽選会**が行われました。

また、パドックエリアでは、日産自動車株式会社により「ワクテク試乗」と「日産の最新ラインナップ展示」が行われ、ご来場の参加にお楽しみいただきました。



午前9時、一斉にスタート



レーシングコースを走るランナー



近藤監督による大抽選会の様子

以上

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

営業部 営業業務課 TEL:03-3556-8511 e-mail:press@fujispeedway.co.jp